

埴輪がわたしを

埴輪がわたしの目線を上げて

窓の外を見せてくれる

埴輪がわたしの背中をおす

そして扉に手をかけさせる

埴輪が風を通す

埴輪が光を入れる

埴輪がわたしを連れ出して

わたしは世界の手触りを知る

埴輪はわたしを

埴輪はわたしを広く広くする

わたしは

ちらばっていく

あらゆるところに

わたしがいる

埴輪はわたしを細かく細かくしてしまふので

わたしは粘土の固さを確かめながら自分の輪郭を取り戻す

今はマール

まぜまぜなぜなぜ

なぜまぜる

まだまだまぜまぜ

まだまぜる

まぜなくてはならん

まぜすぎではならん

まぜまぜまぜる

まぜまぜまぜない

たべる

張りを歯で割る

そのまま進む

しやり しやり しやり しやり

しやり しやり しやり

よし

このひとくちは

もう わたしだ

散らばって集まって

散らばる集まる

また散らばる集まる

散らばる 集める

このまま散らばっていたけれど

そろそろ集めなきゃ

毎朝拾うの面倒だなあ

もうこのまま散らばっていたい